

## 三次郷心会 役員会・講習会・交流会を開催 11/26(月)

11月26日(月)、三次郷心会第2回役員会を開催し、本年度の上期活動・収支報告および3月までの活動について報告され、了承を得ました。続いて、原子力発電環境整備機構の吉見部長様による、同機構が推進している「高レベル放射能廃棄物の地層処分と化学的特性マップについて」の解説していただく講習会を、さらに会員の親睦を図る交流会を開催しました。

講習会は、本年3月に三次郷心会の見学会として島根原発と島根県のオフサイトセンターを見学させていただきました。稼働はしていませんでしたが、安全確保のために様々な対策がされていることを伺いました。この続きとして、国がすすめている原子力政策の中の高レベル放射能廃棄物の地層処分についての取組を紹介いただきました。住人の理解を得ながら、また立地や環境などの調査を綿密に行いながら着実なステップを踏んで進めていく考えを伺いました。講習会には、会員をはじめ関係者38名のご参加をいただきました。

交流会では、下森県議、柴田副市長、小田三次議会議長らの来賓を迎え、44名の参加のもと、交流を深めていただきました。

## 三次・庄原合同 合同見学会開催 11/10(土) 江田島市

11月10日(土)、三次・庄原郷心会合同の見学会を開催しました。今回見学したのは、江田島市の海上自衛隊第1術科学校および江田島市が注力している「オリーブの島」構想の施設のひとつオリーブファクトリーを見学しました。三次からは27名、庄原からは15名の参加でした。

第1術科学校では、鉄骨煉瓦石造の大講堂(大正6年(1917年))のほか、通称「赤レンガ」と呼ばれ全国的に有名な、幹部候補生学校庁舎(明治26年(1893))の映画のシーンの一つとなったわたり廊下、もちろん資料館も見学させていただきました。



もう一つのオリーブファクトリーは、島内や近郊の島で収穫したオリーブを絞る設備を備えたところで、オリーブの販売も行っています。数本のオリーブの木も植樹されており、ハートのオリーブの葉を探すなど、楽しんでいただきました。

## 三次商工フェスティバルに出展 10/27(土)-28(日)

10月27日(土)-28日(日)の両日、県立みよし公園内にて毎年恒例の三次商工フェスティバルが開催され、マツダ(株)三次事業所と共同で、マツダブースを出展しました。

ロードスター RF、CX-8、CX-5、CX-3の4台のマツダ車のほか、3年目となるマツダ自動車試験場のバスツアーを開催、また、本年初めて、マツダのレストア事業のご紹介の一環で、初代ロードスターもバス乗り場に展示しました。バスツアーは、2日間で517名に参加いただきました。レストアしたロードスターにも多くの方が興味を示されていました。



マツダブースでは、車両展示のほか、マツダの「サステイナブル ZOO-ZOOM 宣言 2030」に関するパネルや、マツダ事業所の事業所内に生息する生物多様性の調査の報告パネルなどを展示し、マツダへの理解促進を図りました。

## アテンザ、2018年度 JNCAP 予防安全性能評価において最高ランク「ASV+++」を獲得

2018年度自動車アセスメント(JNCAP)予防安全性能評価において、「アテンザ」が最高ランクの「ASV+++ (エーエスブイトリプルプラス)」を獲得しました。

自動車アセスメント予防安全性能評価は、これまで被害軽減ブレーキ、車線逸脱抑制、後方視界情報について安全性能試験が行われており、加えて今年から新たな評価項目として、夜間の対歩行者被害軽減ブレーキ、ペダル踏み間違い時加速抑制装置、高機能前照灯が追加され、車両の予防安全性能を「ASV+++」「ASV++」「ASV+」の3段階で総合評価します。

「アテンザ」をはじめマツダでは、さまざまな運転環境で、ドライバーの認知・判断・操作を人間中心の発想でサポートし、事故のリスクを最小限に抑えるため、安全思想「MAZDA PROACTIVE SAFETY (マツダ・プロアクティブ・セーフティ)」に基づいた先進安全技術「i-ACTIVSENSE」を国内で販売するすべての乗用車(OEM 車を除く)に標準装備しています。これにより運転初心者から高齢者まで、お客さまにより安全・安心なクルマをお届けすることを目指しています。



## 「マツダ CX-8」が「2018-2019 日本自動車殿堂カーオブザイヤー」を受賞

マツダ株式会社(以下、マツダ)のクロスオーバーSUV「マツダ CX-8」が、「2018~2019 日本自動車殿堂カーオブザイヤー」を受賞しました。マツダ車が同賞を受賞するのは、2015年の小型オープンスポーツカー「マツダ ロードスター」に続いて、今回が4回目となります。

「CX-8」は、多人数乗用車の新たな選択肢として2017年12月に発売された、マツダの国内ラインアップにおける最上位SUVです。このたびの日本自動車殿堂による選考においては、「スタイリッシュな3列シートSUV」、「卓越した運動性能と効率的な室内空間」、「運転負荷の軽減と先進の予防安全技術」が評価されました。



「マツダ CX-8」

## マツダ新型「Mazda3」を世界初公開

マツダ株式会社(以下、マツダ)は11月28日、新型「Mazda3」を世界初公開しました。2019年初頭から、北米より順次販売を開始する予定です。なお、新型Mazda3は、11月30日から12月9日まで開催されるロサンゼルスオートショーで一般公開されます。

新型Mazda3は、日本の美意識の本質を体現することを目指す、深化した「魂動デザイン」を採用。また、人間の持つバランス能力を最大限に引き出すことを追求した、新世代車両構造技術「SKYACTIV-VEHICLE ARCHITECTURE (スカイアクティブ ビークル アーキテクチャー)」や、幅広い走行シーンで意のままの加減速を可能にする、最新の「SKYACTIV-X」「SKYACTIV-G」「SKYACTIV-D」を搭載。人間を中心に設計するという思想に基づき、クルマとしての基本性能を飛躍的に向上させ、走る・曲がる・止まるという、クルマの動きが自然に感じられるよう磨き上げています。



「新型 Mazda3」

## 郷心会事務局からのお知らせ

- ・新会員 1 会員 ①(株)味・舎廊(マツ・サラン)
- ・地域イベントへの参加 三次町ふれあいまつり

会員数 11月末現在 209 会員  
11/3 日(土)

### 新会員ご紹介のお願い

10月の送付資料には、会員名簿を同封させていただきました。併せて、事務局より、会員の皆様に新会員ご紹介のご案内も同封しております。三次郷心会の一層の活性化を進めるためにも、<sup>みよし</sup>344会員を目指してまいります。皆様のご協力をお願い申し上げます。